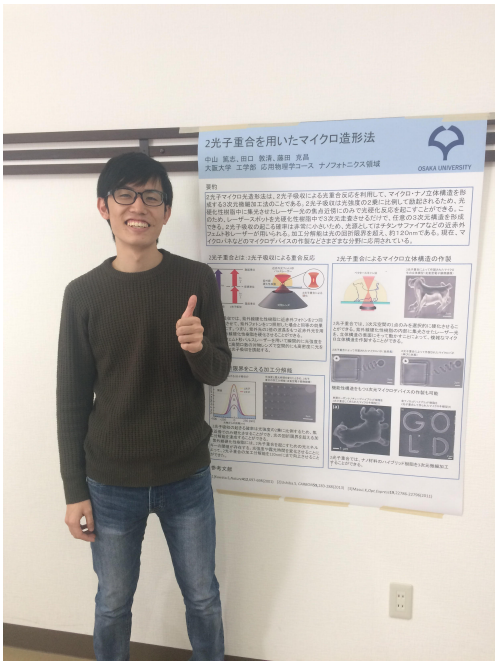
活動報告書　　報告書作成日：　　2017　年 12 月 12 日	
イベント名称: 第9回徳島大学応用物理学会スチューデントチャプター研究会	
日時：　2017年　12月　9日	場所: 徳島大学常三島キャンパス工業会館
目的・狙い：ポスター発表を通じて他の多くの研究者と議論を行い、そこから自身の研究を見直す機会とする。ポスター発表を通じて他の研究者と交流し、人脈を広げることで今後の研究者生活の糧とする。また、複数のスチューデントチャプターと交流し相互協力できるような関係を築き、今後のスチューデントチャプター活動がより活発なものとなるようにする。	
イベント概要：24人の発表者を2つのグループに分け、約90分ポスター形式で発表を行いました。ポスターはこれまでの研究報告および今後の展望についてでした。発表者は高専生、学部4年生〜修士2年生と多岐にわたっていました。ポスター発表終了後、徳島大学スチューデントチャプターの次期代表発表ならびに次期代表の決意表明、今後の活動の告知が行われました。その後、希望者は徳島大学工学部光応用工学科の実験室見学に参加しました。クリーンルーム内にある光学機等の説明を同研究科所属の博士課程の学生にしていただきました。最後に、スチューデントチャプター間の親睦を深めるための懇親会が開かれました。	
当日の様子：参加人数(約40名) 大阪大学スチューデントチャプターからは修士2年（加藤遼、久保俊貴、坂上大貴）3名と学部4年（中山篤志）1名の計4名で参加しました。今回は徳島大学スチューデントチャプター主催の研究交流会に参加者として出席しました。本学の参加者は全員ポスター発表を行い、徳島大学、香川大学、阿南高専の学生と交流を行いました。学部4年生は研究発表等をする機会があまり多くはないため、自身の考えをわかりやすく伝える方法や質問に正しく答える方法などを学ぶいい機会になったと感じました。また自身の研究のみではなく他の研究に関する知識を得ることを楽しんで行っている様子がうかがえました。また、ポスターの内容や研究計画についての熱心な議論が会場のあちこちで行われており、参加者全員が意欲的に交流会に参加していました。懇親会にも多くの大学の学生が参加しており、終始和やかな雰囲気でした。次世代のスチューデントチャプターの主要メンバーとなる学年の参加者も多く、楽しく交流することができお互いを知る良い機会になったと感じました。また、懇親会では研究に関することだけではなくスチューデントチャプターの運営方法や悩みについても語り合うことができ、情報の共有を行うことができ有意義なものとなりました。	

写真添付：

徳 島 大 学 工 業 会 館


2光子重合を用いたマイクロ造形法
OSAKA UNIVERSITY